

令和4年度

学校関係者評価報告書

令和5年3月

筑波研究学園専門学校
学校関係者評価委員会

■令和4年度 学校関係者評価について

筑波研究学園専門学校では、平成20年度より自己点検・評価委員会を設置し、日頃の教育活動について自己点検・評価を実施してきました。また、平成25年度からは、企業及び業界団体や保護者、卒業生等で構成する学校関係者評価委員会を設置し、様々な立場を代表する委員の皆様から学校運営・教育活動実績報告書をもとにご議論いただき、本校の学校運営や教育活動に対して点検・評価していただいております。

以下、先般開催した学校関係者評価委員会の評価結果について報告します。

1. 実施日時・場所

令和5年3月10日（金）14：30～16：45

筑波研究学園専門学校 6号館 大講義室

2. 実施方法

(1) 実施組織：学校関係者評価委員会

○委員長

野口 孝之 学校法人筑波研究学園 理事
筑波研究学園専門学校 学校長

○評価委員

俣野 祐介	学校法人 霞ヶ浦高等学校 進路指導部長	教育関係
仁衡 琢磨	一般社団法人茨城研究開発型企業交流協会 会長 ペンギンシステム株式会社代表取締役社長	業界団体 (地元企業)
加賀美吉彦	土浦商工会議所 事務局長	業界団体
樋口 隆	茨城県自動車整備振興会 教育部教育課 課長	業界団体
河野 正博	一般社団法人茨城県建築士事務所協会 常務理事 株式会社 河野正博建築設計事務所代表取締役	業界団体 (地元企業)
坂 卷 操	筑波メディカルセンター病院 事務部外来一課課長	地元企業
倉田 和典	社会福祉法人えがお 理事 施設統括部長 兼 法人事務部長	地元企業
舘野 仁志	五籃会会長（保護者会代表）	保護者
笠間 俊雄	輝峰同窓会会長（卒業生代表）	卒業生

○学校関係

佐久 芳夫	学校法人筑波研究学園 理事長
松下 博充	学校法人筑波研究学園 専務理事
大森 淳子	学校法人筑波研究学園 理事 筑波研究学園専門学校 副校長／こども未来学科 顧問
水越 武	筑波研究学園専門学校 ITものづくり学科 学科長
齋田 光幸	筑波研究学園専門学校 自動車整備工学科 学科長

原 智 樹	筑波研究学園専門学校 建築環境学科 学科長
宮本 晃太	筑波研究学園専門学校 医療情報学科 学科長
秋葉 純	筑波研究学園専門学校 こども未来学科 学科長
日下部俊博	筑波研究学園専門学校 総務部 部長
岡田 地余	筑波研究学園専門学校 教務部 副部長
杉山由紀夫	筑波研究学園専門学校 入学・学生支援部 副部長

(2) 評価基準：文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠

(3) 評価方法：令和元年度学校運営・教育活動実績報告書に対する学校関係者評価

3. 評価の項目

次の10項目について実施

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献

4. 評価項目に対する評価

(1) 各項目について、次の4段階を基準とし、小数点第一位で評価しています。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

(小数点表示は評価者の平均点を記載)

(2) 委員会で提出された意見や質疑、提案事項等を記載

5. その他

令和4年度 学校自己点検・評価を併せてご覧ください。

項目 1 教育理念・目標

評価：4.0

- ① 社会変化・業界ニーズを見据えた実学重視の取組みに努力している。
- ② 的確な目標を掲げ、学校運営に当たっていると思う。
- ③ 第1回評価委員会で提案したDX化が進む社会変化への対応を検討しており、とても素晴らしいと思う。時代に合った実践的な職業教育は、専門学校だからこそできるもの。今後とも期待する。

項目 2 学校運営

評価：4.0

- ① 運営組織や意思決定機能、各種委員会等が明確化され、有効に機能していると思う。
- ② 更なるIT化・DX化により、より効率的で効果的な学校運営が期待される。
- ③ 時代のニーズを読み取り、将来的に何を求められているかを常に把握して、学校運営に当たっていると思う。
- ④ DX化はどの企業も大きな課題となっており、特にシステム間の連動に目をつけていることは良いことだと思う。ぜひ、システムばかりでなくICT化で失われつつある人間同士の連携にも重みを置いていただきたいと思う。

項目 3 教育活動

評価：3.6

- ① 授業アンケートの実施など、先生方がさらにより授業を展開しようとする様子が窺える。
卒業研究発表会は各学科素晴らしいものだった。
高校では「探究活動」が盛んになってきていて、今後、課題発見や解決のプロセスを経験した人材が専門学校に進学してくるようになると考えられる。
貴校学生が発表後の質疑応答で、「適切な計画を立てて実施すること」「グループメンバーに情報を共有すること」「リーダーとしてメンバーを動かすこと」に難しさを感じたと発言している。
プレゼンテーション能力のさらなる向上も含めて、仲間と協働して問題解決に向かう経験は今後も重視していくことが良いと思う。
- ② 授業アンケートを見ると、1-(1)や3-(5)において公務員及びIT分野に問題があり、1-(1)では学生のモチベーション、3-(5)では授業の工夫を必要としていると見受けられる。
- ③ アンケート調査等を行うことで改善点の発見に努めるなど、常に向上意識で取組まれていることがわかる。
- ④ 一昨年よりも、成果が現れて来ていると思う。
- ⑤ 病院DXは様々であり、医療機関ごとに求められる内容が違う。特にクリニックと病院では役割が違うので、生徒の希望先に合わせた教育が必要と思う。
- ⑥ 全般的には良く取り組んでいると思う。今やネットで探せばわからないことは答えが見つ

かる時代である。つまり分からない授業を分かりやすい授業に変える姿勢が教員として大切であること、これの姿勢が学校の教育活動を支える原動力になると考える。

- ⑦ 授業アンケートについて、アンケートを収集する体制が出来たのは素晴らしいと思う。結果については、授業以外で学習する場が不足しているのでなければ、授業アンケート総括にあるように、スタディ・スキルの不足を感じる。

項目 4 学修成果

評価：3.6

- ① 資格取得について実績値およびアンケート結果を見ても、IT 分野に課題があると感じる。卒業時アンケートでも 1(1)3(3)資格、1(2)役に立つ勉学、3(2)内定への寄与で IT 分野が低い
- ② 高就職率の維持からも、関連企業との連携及び学校の信頼度の高さが窺える。学科により資格取得率に高低があるが改善に向けて努力している。
- ③ 日本の経済状況により、大きく変化しているが、精一杯頑張っていると思う。
- ④ 大学では教員免許を取得せずに卒業する学生が多いなか、ほぼ全員が取得して卒業することは指導の賜物だと思う。また、卒業後も先生や在校生との繋がりがあること、これが学校教育としての一つの成果だと思う。
- ⑤ 学生の入学者数を増やしていきたい事と同じ位、退学者数を減らす事も重要である。病気・ケガや就職はしょうがないが、定期的に学校生活の心配など、きいてみるのも良い。

項目 5 学生支援

評価：3.9

- ① キャリア支援センター設置はよい取組だと思う。キャリア支援センターにて計画した学生支援に関する事項についての資料を見ると、1年生向け就職セミナー等はハローワーク・マイナビ等になっており活動の手順を知る等にはよいと思うが、そもそもの就職モチベーションを上げるために働くことの意義・喜び等について知る機会がそれ以前にあったほうがよいのではないか。
- ② キャリア支援センターの新設により、サポート体制が強化されたことは大いに評価できるとともに期待される。
- ③ 精一杯頑張っていると思う。
- ④ キャリア支援センターの設置により、学科間のキャリア教育の差を縮められることを期待する。

項目6 教育環境

評価：3.8

- ① 問題ない状況と認識している。
- ② 卒業時アンケートなどから、学生の生の声を掴んで改善していくことで良い方向に向かうと思う。
- ③ コロナの2類から5類への変更により、授業のすべてが通常に戻ると思うが、IT関連の学科などではオンライン授業を積極的に取入れてみることも一つの特色になると思う。
- ④ PC持ち込みは、良いと思うが、盗難や、データ流出などに気を配らなければならない。

項目7 学生の受け入れ募集

評価：3.8

- ① 就職率や資格取得率の高さは、専門学校として当然求められる部分かと思う。ただ、同じ分野を学ぶことができる大学・短大でも、就職率や資格取得は同様に求められている。貴校の理事長や校長がホームページ上で発信していることや、卒業生の就職先企業アンケートならびに卒業生アンケートの結果からも、いかにして社会に必要とされる人材を育てるかということに、今後より注力していくことになると感じる。
- ② 問題ない状況と認識している。
- ③ デジタル化への対応はもとより、高等学校進路指導部との連携が最も効果的であると思う。
- ④ 一生懸命な募集活動が行われていると思う。
- ⑤ 入学の決め手は体験入学なのでぜひ楽しい雰囲気づくり、高校生が求める魅力を伝えられるようお願いする。

項目8 財務

評価：3.6

- ① 詳らかではないが、問題ない状況と認識している。一方自己評価8のNo.1を見ると3.4と他評価ポイントよりも低めになっているので更なる安定化を期待する。
- ② 経営5箇年計画に基づきしっかりとした運営をしていることが、自己評価点からもわかる。
- ③ 適正な財務状況と確信する。
- ④ しっかりとした予算・収支計画ができていることを評価する。

項目9 法令等の遵守

評価：4.0

- ① 問題ない状況と認識している。なお、個人情報保護の仕組みがしっかり整備され運用していることを示すプライバシーマークを取得しているか。もし未だであればこれを取得することで内外に仕組みの充実を表すことも大事と思料する。ご参考頂ければ幸い。
- ② 適正に行われている。
- ③ 適切に実施していると思う。

- ④ 自己評価で大切なことは自らの課題発見であり、その基本が自分の弱点を認め改善しようとする姿勢。

項目 10 社会貢献・地域貢献

評価：3.8

- ① 問題ない状況と認識している。
- ② 昨年のかすみがうらマラソンに参加した際に、TIST 学生の沿道からの応援に元気をもらい感謝している。地域の子供達を対象としたイベント企画は将来にも繋がる大変良いアイデアだと思う。
- ③ コロナ禍により活動が縮小気味になってしまっていると思うが、間もなく積極的な活動が出来ると思うので、準備をして欲しい。
- ④ 子ども向けのイベントを検討しているとのことですが、学校だけでできることには限界があるかと思う。様々な企業や団体などにも声をかけてみてはどうか。地域に開かれた学校としてぜひ、社会や地域に貢献できるよう期待する。
- ⑤ こども未来学科以外のボランティア活動は、どのような事をしているか。